



金子 裕美 議員



動画配信中

教職員の働き方改革推進を！

問 足利市立中学校部活動ガイドラインでは、外部指導者の導入が示された。教職員の負担軽減のため、部活動は外部指導者に任せるなど、専門知識を持つ方の活用を推進すべきではないか。

教育長 教職員は子どもたちのためと思い、業務を全て取り組む傾向がある。教職員の働き方改革を進めることは子どもたちの幸せにもつながることから、優先順位を決めて業務に当たるとともに、外部指導者をはじめ、さまざまな人材の活用に取り組んでいきたい。

◆子供を受け入れる環境整備

問 民間保育園では、年度途中入園に対応する保育士確保に苦勞している。市内保育園への就職を促す就労奨励金制度を設けてはどうか。

健康福祉部長 奨励金制度は保育士確保のために有効な方法の一つであるが、本市は現在待機児童がいなかったため同制度を導入する環境にはないと考えている。栃木県社会福祉協議会が実施する就職準備金の貸付や、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付を周知したい。



平塚 茂 議員



動画配信中

防災備蓄品に液体ミルクを加えよ！

問 災害発生時にお湯の確保が困難な場合、液体ミルクが有用である。乳幼児の健康を守るため、液体ミルクの備蓄を推進すべきと考えるがどうか。

総務部長 液体ミルクは災害時に有効である反面、ドライミルクに比べて保存期間が短く、価格も5倍程度となるなど、現時点では課題もある。非常食等は各家庭での備蓄も重要であるため、防災講話等で家庭内備蓄の重要性を呼びかけるとともに、乳幼児の健康を守るための備蓄品のあり方を研究していく。

◆迫間自然観察公園再整備

問 迫間自然観察公園の借地部分の賃貸借契約が平成30年度で終了するが、今後の借地の扱いと整備方針を聞きたい。

都市建設部長 園内の木道は経年劣化が進み、開設当時のような状態に機能回復するためには多額の費用が見込まれる。そのため、賃貸借契約は更新せずに面積を9.7ヘクタールに縮小し、多田木山や芝生広場を中心に公園を存続する方針である。今後は民間活力の導入なども視野に入れ、整備や活用方法を検討していく。



杉田 光 議員



動画配信中

市内企業の労働力確保を！

問 昨今、企業においては労働力の確保が重大な課題となっているが、本市ではどのような施策を講じていくのか。

市長 企業就職ガイダンス等での取り組みを一步進め、平成31年度からは企業がみずから高校等に出向き、生徒や保護者に企業の生の声を届けて就職を促す機会を設けたいと考えている。確かな情報を伝えることで、学生の市内企業への就職につながるよう支援していく。

◆未来ある子供たち

問 学校は虐待が疑われる子どもたちを守る場として重要な役割を担うと考えるが、本市の公立小中学校における対応や連携体制等について聞きたい。

教育長 学校では、数日欠席した場合は必ず家庭訪問を行い、虐待が懸念される場合には教員が直接本人に会い確認している。また、威圧的な保護者へは複数の教員で対応し、虐待が疑われる場合はためらうことなく関係機関に通告するなど、児童相談所や警察、病院等と迅速な連携を図り、何よりも子どもたちの命を守ることを、安全確保を第一に対応している。